

位置情報付きツイートを利用した観光ルートの推薦

Recommendation of Sightseeing Routes by Using Tweets with Location Information

D-4

吉野 優作 伊與田 光宏

Yusaku YOSHINO Mitsuhiro IYODA

千葉工業大学 情報工学科

Department of Computer Science, Chiba Institute of Technology

1 はじめに

現在、日本のTwitterアクティブユーザー数は4,500万人を超えている。Twitterでは位置情報付きツイートを発信する事ができる為、利用者の現地での声を集めることができる。ツイートを元に観光ルートを提案することで従来の観光サイトや雑誌より利用者の声が反映された観光ルートを提案することができると思う。

2 目的

本研究では、東京都内限定でTwitterの位置情報付きツイートを元に利用者の声が反映された観光ルートを提案するシステムの構成し従来の観光雑誌やサイトと比べ利用満足度をはかることを目的とする。

3 提案手法

GetOldTweetsを利用して観光スポット付近の位置情報を持つ観光ツイートを収集し収集した観光ツイートを「食事」、「景観」、「行動」に分類する。分類した観光ツイートを元に観光ルートを提案する。観光ツイートを3つのカテゴリーに分類するために形態素解析エンジンであるMeCabを利用する。利用者には選択していただいた観光地の観光ルートを提案する。システムの構成図を図1に示す。

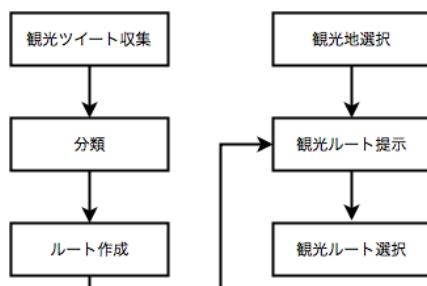


図1.システム構成図

4 評価方法

何名かに作成したシステムを利用してもらい従来のサイトや雑誌に比べもらいアンケートを行い利用満足度をはかる。

5 結果

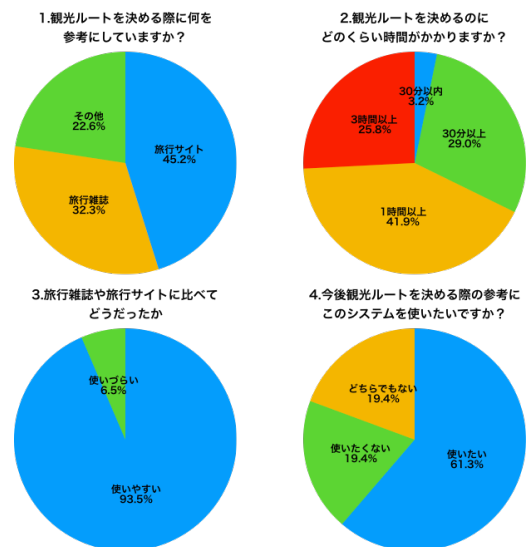


図2.アンケート結果

年齢や性別に関わらず31名の被験者に作成したシステムを使用してもらいアンケートを行い集計をしたものを図2に示す。結果として観光雑誌や観光サイトに比べて使いやすいと答えた被験者が94%、今後観光ルートを定める際の参考にこのシステムを使いたいと答えた被験者は61%いた。

6 おわりに

アンケートの結果として61%の方が今後観光ルートを決定する際にこのシステムを利用したいと答えているがさらに利用満足度を上げるために提案した観光ルートのスポットごとの詳細な情報を一覧できたり観光地の選択の幅を広げる事ができれば利用満足度を上げれると考える。

参考文献

- [1]位置情報付きTwitterデータの観光行動分析への有効性と限界:伊勢志摩地域における事例分析を通して 皇學館大学紀要56巻92-114(2018-3)
- [2]位置情報付きツイートからのイベント検出手法の提案 第74回全国大会講演論文集1号 503-504(2012-03)